

## 第3章 計画の基本方向

### 1 計画の基本理念

社会経済情勢の変化とともに生活様式の多様化、介護保険サービスや障害福祉サービスの契約による利用など福祉制度の変革は、住民が暮らす地域のつながりを変えていきました。しかし、<sup>\*</sup>少子高齢化が進行し、地域のさまざまな活動の担い手の高齢化や減少がみられる中で、新たな「地域のつながり」が、ますます求められています。

第1期計画では、計画の将来像を『誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち』としました。本計画においては、第1期計画をさらに前に進めるため、市民とともに誰もが安心して住み続けられる福祉のまちづくりをめざして、基本理念を次のように掲げます。

<基本理念>

**みんなでつくる、誰もが安心して、  
つながりながら住み続けられるまち**

## 2 計画の基本目標

本計画の基本理念である『みんなでつくる、誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち』を実現するため、計画の基本目標を次のように設定します。

### 基本目標1 地域福祉を推進する人づくり

人口減少と少子高齢化が進む本市において、地域福祉を推進する上で、地域を担い支える人づくりが特に重要です。子どもから高齢者まで誰もが、地域の福祉課題に気づき、自分のこととして捉えられるよう、また、相手を思いやる気持ちやお互いを尊重する心を育めるよう、福祉、教育、まちづくり、産業等のあらゆる分野が連携し、多様な機会を通じて福祉の担い手づくりを進めます。

### 基本目標2 ふれあい、支え合いの絆づくり

住み慣れた地域で、誰もが安心して生活できるよう、日頃からのつき合いを基本に、住民同士がお互いに支え合い、助け合えるよう、世代間交流をはじめ、子育て親子同士、障がいのある人と地域住民、当事者同士などさまざまな交流の機会、ひとり暮らしや高齢夫婦世帯など、支援を必要とする人の地域の見守り活動などを進めます。

また、支え合いや助け合いの活動などの地域福祉の拡充を図るため、地域団体をはじめボランティアやNPO法人、社会福祉協議会等の関係機関・団体が協働・連携するネットワークづくりを進めます。

### 基本目標3 地域での自立生活を支える仕組みづくり

支援を必要とする人が地域で孤立することなく、また、必要なサービスを利用し自分らしくいきいきと生活できるよう、多様な福祉ニーズに対応したきめ細やかなサービスを提供するため、保健・医療・福祉が一体となり、関係機関や団体とが連携してネットワークづくりや、地域の福祉ニーズを把握できる体制づくりを進めます。

今後、さらに知的障がいのある人や精神障がいのある人、認知症高齢者の増加が予想される中で、財産管理や必要なサービスの利用支援が受けられるよう、権利擁護の体制づくりを進めます。

### 基本目標4 安心して生活できる環境づくり

子どもから高齢者まで、身近な地域で誰もが安心・安全に生活できるよう、災害の防止や減災体制、犯罪の防止などの体制の充実をめざします。

また、誰もが安心して外出や移動ができるよう、交通環境の整備を進めるとともに、住みやすい住宅環境づくりを進めます。

さらに、誰もが健康寿命を延ばし、生活の質を高められるよう、生活習慣病の予防や病気の悪化の防止、健康づくりを進めます。

### 3 施策の体系

本計画の基本理念である『みんなで作る、誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち』を実現するため、施策の体系を次のように設定します。

